

公安委員会定例会議(第11回)の開催状況

第1 日 時 令和5年4月26日(水)

午後2時05分 ～ 午後3時55分

第2 出席者 五葉委員長、曾我部委員、佐伯委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長
交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
刑事企画課長、総務課長

第3 議事の概要

1 佐伯委員説示

これからの日本社会においては、「人を育てる」ことが一番大きな課題であると考えています。

私の好きな漢文を紹介しますと、韓愈という文人が書いた雑説の中に「世に伯楽有りて、然る後に千里の馬有り。千里の馬は常に有れども、伯楽は常に有らず。故に名馬有りと雖も、祇だ奴隸人の手に辱められ、槽檻の間に駢死して、千里を以て称せられざるなり」という一文があります。

伯楽は、馬の良し悪しを見分ける名人です。一日に千里を走る馬はどこにでもいますが、伯楽のような人物がいてこそ初めて一日に千里も走る名馬を見出すことができるのです。つまり、たとえ名馬であったとしても、つまらない人の手で育てられ、つまらない馬だと辱められ、馬小屋の片隅で駄馬と首を並べて称えられることなく死ぬこともあるということです。

韓愈自身も、非常に優秀でしたが、自分の才能を認められず、活躍することなく死んでしまった無念さがあると思います。

私は高校で国語の教諭をしていましたが、この漢文をよく生徒と一緒に読みながら、「自分も伯楽にならなければならない。千里の馬のように、生徒たちの中にもそれぞれ才能を持った人が常にいるはずだ。私はそれを見抜いて育てられるのだろうか」とよく自問自答していました。

育てる側は「人材は常にいる」という視点を持つことが必要です。肝心なことは、育てる側が能力を見抜けるか、若い人の可能性を信じて育てていけるかどうかです。育てる側は、できないと決めつけるのではなく、若い人たちには無限の可能性のあることを信じ、その能力を見出して伸ばしていく力量を持つことが必要です。

警察組織においても、若手職員の能力を引き出せる伯楽のような幹部が多くいることを期待します。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和5年第10回公安委員会定例会議の会議録について伺いがありました承した。

(2) 警察署協議会委員の委嘱及び委嘱状の交付

総務室から、警察署協議会委員の委嘱及び委嘱状の交付について伺い

があり了承した。

(3) 公安委員会表彰の推薦

総務室から、公安委員会表彰の推薦について伺いがあり了承した。

(4) 個人情報開示請求に係る訂正請求

総務室から、個人情報開示請求に係る訂正請求について伺いがあり了承した。

(5) 犯罪被害者等早期援助団体の規則に基づく書類提出

総務室から、犯罪被害者等早期援助団体の規則に基づく書類提出について伺いがあり了承した。

(6) 審査請求に係る裁決

総務室から、審査請求に係る裁決について伺いがあり了承した。

(7) 留置施設に対する「実地監査計画（案）」の策定

警務部から、留置施設に対する「実地監査計画（案）」の策定について伺いがあり了承した。

(8) ストーカー行為等の規制等に関する法律違反禁止命令延長報告

生活安全部から、ストーカー行為等の規制等に関する法律違反禁止命令延長報告について伺いがあり了承した。

(9) 交通規制に関する意思決定

交通部から、交通規制に関する意思決定について伺いがあり了承した。

(10) 警察職員等の援助要求

警備部から、警察職員等の援助要求について伺いがあり了承した。

(11) 自動車運転免許技能試験官の指定

交通部から、自動車運転免許技能試験官の指定について伺いがあり了承した。

(12) 指定自動車教習所卒業初心運転者の交通事故防止貢献教習所に対する表彰

交通部から、指定自動車教習所卒業初心運転者の交通事故防止貢献教習所に対する表彰について伺いがあり了承した。

(13) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、22件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

3 報告事項

(1) 令和4年度における愛媛県警察ひめロール制度の運用状況

警務部長から、令和4年度における愛媛県警察ひめロール制度の運用状況について報告があった。

委員から、「個人情報等に配慮しつつ、相談内容やその助言・サポート等の概要を共有できるようにしてほしい。より効果が上がるように今後も工夫して取り組んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「相談できる仕組みがあるのは素晴らしい。ぜひ今後も継続していただきたい」との発言があった。

(2) 令和5年度警察官（大学卒）採用試験の申込状況

警務部長から、令和5年度警察官（大学卒）採用試験の申込状況につ

いて報告があった。

委員から、「採用情勢は厳しいが、警察官志望者が増えるように今後も努力していただきたい」との発言があった。

委員から、「県警察の魅力を積極的に発信するなどして申込者数の増加を図っていただきたい」との発言があった。

委員から、「県警察は女性にとって魅力ある職場だと思うので、優秀な女性警察官が増えることを期待している」との発言があった。

(3) 令和5年春の全国交通安全運動の実施

交通部長から、令和5年春の全国交通安全運動の実施について報告があった。

委員から、「人の輪作戦等、県民を巻き込んだ取組や広報により県民の交通安全意識の高揚を図っていただきたい」との発言があった。

委員から、「横断歩道で手を上げる取組や自転車ヘルメットの着用率向上など、様々な活動に取り組んで交通事故防止に努めていただきたい」との発言があった。

(4) 重傷ひき逃げ事件の検挙

交通部長から、重傷ひき逃げ事件の検挙について報告があった。

委員から、「逃げてでも必ず検挙するという県警察の強い姿勢を示すことができた。引き続き、同種事案の抑止や発生時の早期検挙に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「検挙に至るまで困難な捜査が続き大変な苦労があったと思うが、今後も同種事案の徹底検挙に努めていただきたい」との発言があった。

(5) 飲酒取締り強化期間における実施結果

交通部長から、飲酒取締り強化期間における実施結果について報告があった。

委員から、「今後も飲酒運転等の悪質な交通違反については、しっかりと取り締まっていきたい」との発言があった。

委員から、「飲酒運転は絶対に許さないという姿勢で取締りを徹底していただきたい」との発言があった。

(6) G7広島サミットに向けた各種テロ対策訓練の実施

警備部長から、G7広島サミットに向けた各種テロ対策訓練の実施について報告があった。

委員から、「引き続き関係機関と各種訓練に取り組んで対処能力の向上を図っていただきたい」との発言があった。

委員から、「最近、爆発物騒ぎが相次いで報道されるなど、どこで何が起こるか分からない情勢にある。危機感を持って訓練に励んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「テロ対策は非常に難しいと思うが、いろいろな対策を講じてG7広島サミットが無事開催されるように尽力いただきたい」との発言があった。

(7) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関する報告があった。

4 その他

本部長から、「委員説示において、「千里の馬」について御紹介いただいた。まさに身につまされる思いである。厳しい採用試験を経て県警察に採用された優秀な若者の能力を見抜けるかどうかは幹部次第であることを肝に銘じ、しっかりと人材育成に取り組むたい」「G7広島サミットを目前に控え、関係機関と連携してテロ対策訓練や警備諸対策に取り組んでいるところであるが、先般、和歌山県において岸田総理襲撃事案が発生するなど、極めて厳しい警備情勢にある。サミット警備をめぐっては、開催地での警備措置のみならず、その他の地域でも各種対策や一般治安に間隙を生じさせないようにしっかりと取り組んでいく必要がある。万全の警備を実施できるように職員の意識を高めるとともに、関係機関の協力も得つつ、県警察一丸となって乗り切ってもらいたい」との発言があった。

以 上